

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年1月30日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年1月3日
明治大学卒業予定年月	2026年4月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校(日本語名) University at Buffalo(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～8 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約3万
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学のためなし
宿舍費	5038	787,547 円	寮費
食費	900	133,533 円	ダイニングポイント 600+外食+自炊
図書費	0	0 円	
学用品費	25	3,709 円	ノートとインデックスカード
携帯・インターネット費	45	6750円	Mint Mobile
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2021	300,000 円	旅行、学外キャンプなど
被服費	140	20,771 円	
医療費	0	0円	
保険費	1432	214,800 円	形態: 明治の保険+UB の保険
渡航旅費		480,000 円	
ビザ申請費	377	53597 円	ビザ申請+SEVIS
雑費	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	9978	2,000,707 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港(HND) 目的地: バッファロー(BUF) 経由地: オヘア(ORD)
復路 出発地: ダレス空港(IAD) 目的地: 羽田空港(HND) 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:JAL 料金:30 万円 復路 航空会社:ANA 料金:18 万円 ∴合計:48 万円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:航空会社公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Greiner Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数3人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学の Campus Housing から連絡が来て、大学独自のサイトで登録しました。特に難しい手順ではないので心配しなくて大丈夫だと思います。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私の寮は2年生のみが入居できる寮で、他の寮よりは少し値段が高かったです。しかし、値段の分、エアコンがついていたり、寮全体がきれいです。また、エリコットという隣の寮はフロアで数十人とシャワーとお手洗いを共用しなければなりません。私の寮は部屋のなかにあり、ルームメイトとのみ共用していました。ただ、2年生の生徒だけということで、すでに友達がいる人が多いので、寮内での友達作りは難しいかもしれません。また、ノースキャンパスとサウスキャンパスどちらにも寮はありますが、イベントや授業はだいたいノースキャンパスで行われているので、アクセス面ではノースキャンパスをおすすめします。ただ、サウスキャンパスも近くにスーパーやレストラン、公共交通機関があったり、寮だけでなくその周りのアパートに住んでる人も多く、私はよく遊びに言っていたので、利点はあります。それぞれ長所、短所があるので、事前にサイトを見たり、ISS に質問して、自分に合った住居を選ぶことをおすすめします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: WellNow Urgent Care)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険なエリアは現地の人に聞いて、そこには行かないようにしていました。また、キャンパス外は一人で行動しないよう心がけていました。クレジットカードが不正利用されたので、カード会社に連絡してとめてもらい、再発行してもらいました。再発行の間は、両親から友達の銀行を通じて送金してもらい、友達にキャッシュを引き出してもらって生活していました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

一回Wifiが学内でおちましたがすぐに復旧しました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本の風邪薬、カイロ、ヒートテックなどです。バッファローはすぐに寒くなるので冬服を多く持っていくことをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Spoken English	英語の話し言葉
科目設置学部・研究科	English Language Institute
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Victoria Long
授業内容	留学生向けのスピーキング授業です。主にプレゼンテーションスキルを身につけます。
試験・課題等	プレゼンテーション3回とそのアウトライン、また動画を見てやる宿題など ほとんど毎回課題はです。
感想を自由記入	留学生向けのスピーキングのクラスなので、内容はそこまで難しくありませんが、課題は割と多いです。教授がとても優しく丁寧な方なので、質問しやすかったです。また、プレゼンテーションのフィードバックを丁寧にしてくれ、褒めるところはほとんど褒めてくれたのでモチベーションになりました。英語が第二言語の生徒が集まっており、友達を作るにも向いているクラスです。友達がいないで慣れない最初の学期にはとってもいいのではないかと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Women in Developing Countries	発展途上国の女性たち
科目設置学部・研究科	Department of Global Gender and Sexuality Studies
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Soe Win
授業内容	ビデオ、ライフストーリー、ケーススタディ、政策文書など、さまざまな教材を使用して、発展途上国における女性の社会的・経済的、政治的地位について探求します。具体的には、女性の労働とグローバリゼーション、貧困と不平等、移住と環境破壊、女性の社会的慣行など、女性の社会的・経済的・政治的地位について学びます。
試験・課題等	主にレポート課題、中間テストは知識を確認するようなもの、期末はレポートとプレゼンテーションです。毎回リーディング課題がでて、それをもとにクラスでディスカッションをします。
感想を自由記入	リーディングが専門用語も多く、内容を理解しても、ディスカッションについていくことが大変だったり、一番苦労した授業でした。しかし、教授が本当に親切な方で、わからないところは授業後解説してくださったりして、徐々にについていけるようになりました。レポート課題が多いので、Writing Centerを毎回利用して課題をこなしていました。知識がついてアウトプットもできたので、とても学びになりました。ジェンダー学に興味のある人は、Soe Win教授の授業をとると、とてもいい学びになるのではないかと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Department of Communication
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Junhao Hong
授業内容	学生が文化と異文化間コミュニケーションのいくつかの主要な焦点に精通し、それらの概念が個人、グループ、コミュニティ、コミュニケーション、現実世界の問題、出来事、相互作用にどのように適用できるかを探求するコースです。主に教科書ベースに講義が進みます。
試験・課題等	クイズが六回と、ビデオとリーディングの課題があります
感想を自由記入	主に講義形式ですが、先生がランダムで授業中に指名してくるので、授業内容の理解が求められます。しかし、内容はそこまで難しくなく、異文化の障壁などのテーマは共感できるものなので、とても面白い授業でした。日本の話題もでてきて、海外から見た日本のイメージ、日本人とのコミュニケーションのイメージなどを学べて興味深かったです。他の科目よりはディスカッションが少ないです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
JPN496 TUT Internship Practicum	日本語会話インターンシップ実習
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Chihiro Heckman
授業内容	日本語を学んでいる現地学生の日本語で会話する機会を増やすための会話セッション、日本文化に興味のあるひとたちに日本文化を伝える交流会という2つのイベントを企画します。
試験・課題等	2つのイベントの企画、振り返り、最終レポートがあります。
感想を自由記入	英語と日本語どちらも使用しながら現地の学生に日本について教えます。留学生は現地の学生と仲良くなるのが難しいとよく言われていますが、私はこの授業で仲良くなることができました。教育関係、特に日本語教育について興味のある人にはおすすめの授業です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	Housing 手続き、VISA の手続き、航空券の取得、健康書類の取り寄せ
	8月～9月	携帯関連の準備、出発、授業開始
	10月～12月	授業終了
留学/帰国年	1月～3月	旅行、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私がこの大学を選んだ理由は私が学びたいジェンダーについての科目が豊富だったことと、カナダとアメリカの国境近くにあるということで、様々なバックグラウンドを持った生徒たちと関わるができるのではないかと考えたことです。実際に、ジェンダー学は一つの授業しかとっていないのですが、それでもとても豊富でたくさんの学びを得ることができました。アメリカの授業はリーディングがたくさんなので、最初は大変だと思いますが、慣れてくると、知識が増えたようで、楽しくなります。

また、バッファロー大学はとても多様性に溢れていて、一概にアメリカ人といっても、移民系の人たちも多く、世界中から人が集まっていることがわかりました。バッファロー大学はニューヨーク州に位置していますが、みなさんが想像するタイムズスクエアとかシティはここから遠く、飛行機で1時間くらい、車やバスで8時間かかるので注意してください！

ニューヨークですが本当に田舎で何もありません笑 ただ、大学内に、レストラン、服屋、本、雑貨屋、ジムなどすべて揃っているの、そこは便利だと思います。また、宿舎については、寝具やキッチン用具など自分で買い揃えなければならないものが多いですが、それさえ買ってしまうと特に生活に困ることはありません。

治安については、キャンパス内は私が思っていたよりずっと安全です。夜でも出歩くことができます。特に、ノースキャンパスのあるニューヨーク州アーマストはアメリカの最も安全な都市の一つとしてランクされているそうです。しかし、2022年にバッファロー銃乱射事件が起こっているように、警戒心は忘れないようにしてください。特に、サウスキャンパスとダウンタウン周りは危険と聞くので、夜は歩かない、なるべく友達とでかけるということを徹底したほうが良いと思います。あと私はカード全部不正利用されて一時期所持金がなくなったので、そういうときのために現金は多め(600ドルとか)に持っていったほうが良いと思います。もしくは、キャッシュを引き出せるカードがあるといいです。ATMは学内にあります。ちなみに、私以外にも二人の友達もカード不正利用されていたので、スキミング対策などをすることをおすすめします。

友達関係については、その人次第かなと思います。アメリカの人はフレンドリーというイメージを持つ人もいますが、自分から積極的に行動しないと友達は作れません。日本人や日本語を話すことができる人がわりと多く、そこだけでつるもうと思えばできてしまいます。そのため、いろんなイベントに積極的に参加することをおすすめします！言語の壁はすぐ感じるの、留学前にすこしでも英語を使って話す、聞く力を鍛えたほうが良いです！留学生はアメリカ人の友だちを作ることが難しいとよく言われていますが、UBは日本語のクラスや日本に興味がある人が集まるクラブがあるので、そこで現地の学生と交流できるのではないかと思います。日本に興味のある人はわりと多いです。

手続きや生活などいろいろ不安なことがあると思いますが、想像しているより物事はなんとかなります。ネガティブにこれから起こることを考えすぎずに、今すべきことに集中してください！友達作りに関して、英語力も大切ですが、趣味や特技も大事だと思っています。例えば、ダンスが好きなら、英語力に困っても、それだけで多くの人と繋がることができると思います。特にUBはたくさんの種類のクラブがあるので事前に入りたいクラブを調べておくといいかもしれません。したがって、なにか一つでもいいから、特技や趣味を極めておいておくのがおすすめです！いろいろ先を考えて不安になることも多いと思いますが、絶対に日本にいたのでは経験できないことがたくさんできるので、ぜひ前向きな気持ちで留学に臨んでください。なにか困ったことがあれば、留学生用のオフィス、友達、カウンセリングの人たち、留学経験のある先輩などにコンタクトをとって、悩みを抱え込まないようにしてください。応援しています！